

日本共産党公認

こすげ啓司さんが立候補

県政の転換めざして 県知事選



6月16日告示・7月3日投票で行なわれる群馬県知事選挙に、日本共産党公認でこすげ啓司氏（日本共産党群馬県委員会委員長）が立候補いたします。

こすげ氏は、群馬県政の4つのチェンジをめざし、大沢県政が進める大型開発優先から「県民の命最優先へ予算の抜本的な転換」を訴えて闘います。みなさんの大きなご支援をよろしくお願いいたします。

4つのチェンジ要旨 *詳しくはチラシをご覧ください！

1. '原発ゼロ' 発信、自然エネルギー先進県へ

- サーベイメーター（放射線測定器）を全幼保・学校に
- 太陽光パネル設置に50万円を補助

2. 災害に強い県へ

- 学校・公共施設の耐震化は2年以内に
- 一般住宅の耐震化に100万円、住宅リフォームに10万円助成

3. 福祉・教育、日本一の県へ

4. 地域経済・農林業が元気、平穏・安全な県へ

保育園などの耐震対策を要求

井之川博幸議員は、10日に開催された沼田市議会本会議における11年度一般会計補正予算の審査のなかで、今年度に昭和52年に建築された私立保育園が国の「安心子ども基金」の補助金で改築される事になったのを受けて、他の保育園の耐震化の状況と耐震基準以下の建物の対策を要求しました。

健康福祉部長は、「公私12園のうち、S57以降の対策済みが8園、診断の結果不要が公立で1園、私立で今年度建替えが1園、残りはH24年度まで耐震診断を行なって、結果に応じて対策を立てていく」と答えました。

沼田市議会報告

子どもへの基準で公園も調査を

井之川議員が放射線量の調査を要求！

6月議会中に開催された経済建設常任委員協議会において井之川博幸委員は、市内公園の管理を担当している都市計画課などに対し、「学校の校庭などでの子どもへの被爆量が問題になり、表土を削り取るなどの対策が行なわれているが、休日や放課後に子どもたちが遊ぶ公園の放射線量も調査し、高ければ対策をとる必要があるのではないか。まず早急に調査を。」と要求しました。



5月に十王公園で遊ぶ子どもたち

市当局の担当部課長は、そのような方向で考えていきたいとの姿勢を示しました。

市当局の担当部課長は、そのような方向で考えていきたいとの姿勢を示しました。

農産物流通・販売業者などへの補償にも取り組み

つぎに井之川委員は、産業振興課などに対し「農産物生産者の農家に対しては、JAなどがまとめて放射線災害の補償を東電に要求しているが、農産物の流通・販売などの業者の補償はうまくいっていない。市でも対策を考え、支援をしてもらいたい」と要求しました。

震災緊急保証制度の利用を

大震災後に売上が減少して融資を受けたいという業者に対し、「震災緊急保証」制度が創設されました。

2011年6月19日 No.563

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町 983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料